

A Y - 1 0 , B Y - 1 0

心 理 学 に 関 す る 領 域 ①

心的外傷後ストレス障害（PTSD）について，次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 DSM-5によるPTSDの診断基準について説明せよ。
- 2 PTSDに対する心理学的介入の一つである持続エクスポージャー法の目的・方法・注意事項について簡潔に説明せよ。
- 3 近年，虐待や家族間暴力など，日常的に繰り返されてきた出来事によって生じたトラウマが注目されている背景及びそのトラウマへの対応における留意点について，簡潔に説明せよ。

(100点)

A Y - 1 0 , B Y - 1 0

心 理 学 に 関 す る 領 域 ②

道徳性の発達について、次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 コールバーグは次のようなジレンマの物語を子どもに呈示し、子どもの回答から、道徳性の発達段階は3水準6段階で構成されると考えた。3つの水準は前慣習的水準、慣習的水準、後慣習（脱慣習）的水準と呼ばれ、それぞれに2つの発達段階があるとされる。この物語の問いに対して、3つの水準それぞれに当てはまる回答例を作り、その特徴について、発達段階の順に簡潔に説明せよ。

「1人の女性のがんのために死にかかっていた。この女性を救うことができる薬は1種類しかなかった。その薬を作った人は同じ町に住む薬剤師で、原価は200ドルもかからないのに、10倍の2000ドルの値を付けていた。その女性の夫のハインツは、薬を買うために何人もの知人からお金を借りようとしたが、必要なお金を集めることができなかった。そこでハインツは、薬の製造者に、薬を月賦で売ってくれるように頼んだが、その願いは聞き入れられなかった。ハインツはやけになり、店に押し入り、薬を盗んだ。ハインツはそうすべきだったのか？彼がしたことは正しいのか？なぜそう思うか？」

- 2 道徳性の発達に影響を及ぼす社会文化的要因にはどのようなものがあるか、コールバーグ批判を含めて説明せよ。

- 3 道徳性の発達を促進する要因や関わりについて，対人関係，教育環境の観点からそれぞれ論ぜよ。

(100点)

A Y - 1 0 , B Y - 1 0

心 理 学 に 関 す る 領 域 ③

人の行動と動機づけを理解する上で重要な準拠集団(reference group)が、時に犯罪や逸脱行動に結びつく可能性に関して、次の1から3までの小問に答えよ(問いの順に解答すること)。

- 1 準拠集団の概念について説明せよ。
- 2 準拠集団が、人の社会的行動や周囲への認知に対して果たす機能や影響について、それぞれ具体例をあげながら説明せよ。
- 3 小問1と2を踏まえて、準拠集団が、個人あるいは集団による犯罪や逸脱・問題行動に結びつく可能性について、具体例を挙げながら論ぜよ。

(100点)

A Y - 1 0 , B Y - 1 0

教育学に関する領域 ①

現代の日本における初等中等教育段階の教育課程に関して，次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 「社会に開かれた教育課程」について，背景にある考え方とともに説明せよ。
- 2 1の実現に向けた方策の一つとして「カリキュラム・マネジメント」の必要性が提起されているが，カリキュラム・マネジメントについて，複数の側面から説明せよ。
- 3 「カリキュラム・マネジメント」を推進するために，学校組織及び教師それぞれがとるべき手立てを，具体例を挙げて論ぜよ。

(100点)

A Y - 1 0 , B Y - 1 0

教育学に関する領域②

教育評価及び心理学研究法に関する次の1及び2の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 授業過程における教育評価を，評価を行う時期により分類し，それぞれの評価の特徴について説明せよ。
- 2 アクティブラーニング型授業の例を挙げるとともに，その効果を評価するための具体的な方法と留意点について，心理学研究法の知見をもとに論ぜよ。

(100点)

A Y - 1 0 , B Y - 1 0

教 育 学 に 関 す る 領 域 ③

インターネットでのいじめが問題化しているが、今日の子どもや若者の電子メディアの利用のあり方について、次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

なお、1から3の小問をとおして、以下の語句を必ず1回は使用し（順不同）、その語句の初出時には下線を付すこと。

メディア活用能力（メディアリテラシー） つながり不安
ネットモラル教育

- 1 スマートフォンなどの情報機器は「パーソナルメディア」と呼ばれるが、子どもや若者の「パーソナルメディア」の利用方法の特徴について、複数の点から説明せよ。
- 2 「パーソナルメディア」からの情報が、学級内での仲間関係や集団づくりにどのような影響を与えていると指摘されているか、複数の点から説明せよ。
- 3 「いじめ防止対策推進法」（平成25年施行）では「ネットいじめ」の存在が問題視されている。具体的に学校現場ではどのような認識や対策が必要とされているか、論ぜよ。

(100点)

A Y - 1 0 , B Y - 1 0

福祉に関する領域 ①

ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて、以下の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 スーパービジョンの目的及び意義を説明せよ。その際、以下の4つの語句を全て使用し（順不同）、その語句の初出時には下線を付すこと。

管理的機能 評価的機能 教育的機能 支持的機能

- 2 スーパービジョンの方法について個別とグループを取り上げ、その相違点に触れながら説明せよ。
- 3 ソーシャルワークの実践現場ではスーパービジョンの必要性が言われる一方で、定着がしにくいとも考えられている。1及び2を踏まえ、活用しやすいスーパービジョンについて、職場環境、方法及びスーパーバイザーに期待される役割に触れながら論ぜよ。

(100点)

A Y - 1 0 , B Y - 1 0

福祉に関する領域②

子どもの福祉に関連する国際動向について、次の1及び2の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 2015年の国連サミットにおいて「持続可能な開発に関するサミット」が開催され、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）が採択された。この開発目標で掲げられた世界規模での子どもの健康・教育・福祉問題等に関連する具体的な目標を3つ挙げて説明せよ。
- 2 2019年3月の国連児童の権利に関する委員会（子どもの権利委員会）による、「第4回・第5回政府報告に関する総括所見」で示された、日本の子どもの権利に関する勧告内容と、それに応じた対応策等について、以下のテーマから3つ選択して論ぜよ。

差別の禁止 意見の尊重 体罰防止

家庭環境を奪われた子どもへの代替的養護 相対的貧困

(100点)

A Y - 1 0 , B Y - 1 0

福祉に関する領域③

高齢者の介護予防について、次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 介護予防の概念を、一次、二次、三次予防の3段階に整理して説明せよ。
- 2 介護予防・日常生活支援総合事業（以下、「総合事業」という。）の概要を説明せよ。
- 3 総合事業の事業対象者に対する介護予防ケアマネジメントにおける目標及び留意点について、具体例を挙げながら論ぜよ。

(100点)

A Y - 1 0 , B Y - 1 0

社会学に関する領域 ①

福祉レジーム論からみた日本社会における家族とケアの関係について、次の1及び2の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 1990年代以降の日本社会において、家族とケアの関係がどのように変化したのかを、福祉レジーム論の観点から、日本と他の国を比較しながら説明せよ。
- 2 1のような変化を経たうえで、日本社会における家族とケアの関係をめぐって、どのような課題が残されているのかについて論ぜよ。

(100点)

A Y - 1 0 , B Y - 1 0

社会学に関する領域②

米国のシカゴ学派の社会学は、社会学全体の発展に対する貢献はもとより、犯罪・非行研究に対する貢献も多大なものがあった。この学派について、次の1及び2の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

なお、2つの小問をとおして、以下の語句を必ず1回は使用し（順不同）、その語句の初出時には下線を付すこと。

シンボリック相互作用論 地域環境 ラベリング論 社会解体
同心円地帯理論 モノグラフ 『ジャック・ローラー』 資源

- 1 シカゴ学派の社会学について、特に犯罪・非行研究を中心に説明せよ。
- 2 シカゴ学派の社会学から導き出される犯罪・非行対策について、現代日本の社会的文脈を踏まえて論ぜよ。

(100点)

A Y - 1 0 , B Y - 1 0

法 律 学 に 関 す る 領 域 ①（民 法）

甲土地はAが所有していたが、Bは、甲土地が自己の所有地になったと過失なく信じて、平成22（2010）年4月1日、甲土地上に目一杯の大きさの倉庫を造り、使用し始めた。

他方、Aは、甲土地をCに売却し、Cへの所有権移転登記を完了した。

令和3（2021）年5月1日、Cがこの土地を使用しようとしたところ、Bの占有が明らかになった。

次の各場合において、BはCに対して甲土地の所有権を主張することができるか。

- 1 AのCに対する甲土地の売却が平成30（2018）年4月1日に行われた場合
- 2 AのCに対する甲土地の売却が令和3（2021）年4月1日に行われた場合

（100点）

A Y - 1 0 , B Y - 1 0

法 律 学 に 関 す る 領 域 ②（民 法）

Aは、所有する甲建物をBに賃貸し、引き渡した。

Bが、甲建物の賃借権を登記していない場合、次の1及び2の小問に答えよ。

- 1 Aが甲建物をCに売った場合、Cは、Bに対し、甲建物の明渡しを請求することができるか。また、Cは、Bに対し、甲建物の賃料を請求することができるか。
- 2 Bが甲建物をAに無断でDに転貸した場合、Aは、Bに対し、甲建物の賃貸借契約の解除を主張することができるか。

(100点)

A Y - 1 0 , B Y - 1 0

法 律 学 に 関 す る 領 域 ③（刑 法）

甲は、4歳の息子乙に対し、丙商店を指さし、「あの店のビールを、店の人に見つからないように持ってきて。」と述べた。乙は、何の疑問も抱かず、甲に言われたとおり、丙商店でビールを手を取った。

次の各場合における甲の罪責を論ぜよ。

- 1 乙は、手を取ったビールを店外に持ち出して甲に渡した。
- 2 乙は、店員から声を掛けられたため、手を取ったビールを店外に持ち出すことができなかった。

(100点)

A Y - 1 0 , B Y - 1 0

法 律 学 に 関 す る 領 域 ④（刑 法）

次の各場合における甲の罪責を論ぜよ。

- 1 甲は、代金を払う意思がないのに乙食堂で定食を注文した。甲は、提供された定食を食べた後、店員の隙を見て、代金を支払わずに店外に出て、逃走した。
- 2 甲は、財布を忘れたことに気付かずに乙食堂で定食を注文した。甲は、提供された定食を食べた後で財布を忘れたことに気付いたが、代金を支払うのが惜しくなり、代金の支払を免れようと考えて、店員に対し、「財布を忘れたので、家に取りに行きます。」と述べ、店員は、「分かりました。待っています。」と述べて代金を受け取らずに甲を退店させた。甲は、乙食堂まで戻らなかった。

(100点)